

日本列島情報ネット

北陸・信越版

〒950-0087
新潟市中央区東大通
2-2-12
電話・025(246)3634
FAX・025(246)3667

〒930-0072
富山市橋井町2-4-21
電話・076(421)1782
FAX・076(421)1785

日鉄工材 「安全衛生優良」大臣表彰を受賞 密なコミュニケーション、リスク先取り

日鉄工材(本社・上越市、社長・宮原光雄氏)はこのほど厚生労働省から安全衛生に関する優良事業場に対する厚生労働大臣表彰(奨励賞)を受賞した。長年の休業無災害等の実績が認められた。

玉巻秀泰常務は「17年以上となる長期の休業無災害等の実績が認められた。我々だけでなく先輩方の活動を含めて評価いただいた」と喜びの言葉を語った。



玉巻常務(左)、川野グループ長

で全体のレベルアップを目指す。5Sを徹底することは災害を減らす原点。

現業職場の監督職、例えば職長は現場での生産に関わる時間を減らす。管理業務の比率を多くしている。業務による生産性の変化を加味、近年はダイバーシティ、女性活躍の点にも配慮する。

新たに現場に女性専用休憩室、シャワー室を完備。現在若手の女性2人が所属する。体力に関わる重筋作業を考慮している。

気づきは日々更新。訓練動画では安全で正常な動作、注意点を明示し、正常性バイアスで思い込みを偏らないように努力している。

「これまでの無災害は未来を保証するものではなく、自分たちが考える安全活動を愚直に推進。実績を生かしていきたい。少しずつでも改善を継続する」と話す。

7月新潟県労働局で担当する川野朋生総務部長は「仮想ヒヤリ」を奨励。「仮想する力を喚起するために体感が必要」と玉巻常務。「結局は双方の対話をできる環境づくり、職場風土の醸成だ。スモールミートイック等対話の機会を作ってきた(同)。

5S活動はこれまで5段階評価だったが、さらに上のレベル6、7を自分たちで設定した。自発的な改善につながるべく、現状レベルを自己評価すること

務部グループ長は「Y」について「長年実績がある半面、大きな災害を自にしているため社員はリスクを抽出する想像すら難しいが、他社の事例を教訓として学び、安全訓練に生かす。現場作業のリスクに置き換え撲滅に向けた活動を行っている」と話す。

リスクの芽を見つけたため日本製鉄グループの知見を生かし直江津地区の危険体感施設を体験。昨年、現業職場の全社員が参加したヒヤリハット報告で